

年間教授計画 2026年度（4月～2月）

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間	単位数
DTP基礎	クラス: 1年 M組 学科: デザイン科 コース: 全	古殿	なし	2 時間/週	60 時間	2 単位

授業概要	商業印刷物・広告物・出版物に関する基礎知識と共にアプリケーション操作によるDTPデータ制作方法を学習する
最終到達目標	商業レベルとして通用するデータ制作の知識習得とそのオペレーションができるようになる
実務経験の活用方法	これまで商業印刷物・出版物の企画・デザイン・レイアウト・DTP制作・入稿・出力・ディレクション・営業などの業務に携わってきました。この実務上の知識や作業処理の方法には、教科書やマニュアルからは得られない、あるいは掲載不能な事項や、現場レベルでの多数のノウハウが存在します。生徒に対して、これら業務に直結する実践的なDTPの基礎知識と、アプリケーションの操作方法が実務のどこに繋がっていくのかといった有効なデータ制作方法を理解・習得させる教育を行います。

月	週	単元	内容および授業方法				
前期 (4月～9月)	1	DTPの基礎知識	・概要: 学習目的の理解・用語の意味・制作ワークフロー(講義・演習)				
	2		・DTPの仕事・色指定(講義・演習)				
	3		・正確な制作技術(講義・演習)				
	4		・オブジェクトの概念(講義・演習)				
	5		・DTP制作のオブジェクト操作(演習)				
	6		・DTPのカラーモード(講義・演習)				
	7		・DTP必須の画像操作(講義・演習)				
	8		↓				
	9		↓				
	後期 (10月～2月)	10	DTP制作上の技法	・グラフィックの表現手法(講義・演習)			
11		↓					
12		・DTPで使われるマスク技法(講義・演習)					
13		・DTP画像の正確な設定と切り抜き(講義・演習)					
14		・グラフィックの表現手法(講義・演習)					
15		・DTPで使われるマスク技法(講義・演習)					
後期 (10月～2月)	1	より高度な制作技法	・広告イメージの制作手法(講義・演習)				
	2		・イメージの修正(講義・演習)				
	3		・広告イメージの修正(制作課題)				
	4		・広告イメージの制作技法(講義・演習)				
	5		・DTP制作技法の向上(講義・演習)				
	6		・DTPでよく使われるグラフィックの制作技法(講義・演習)				
	7		↓				
	8		↓				
	9		・DTP必須のグラフィック制作技法(制作課題)				
	10		・グラフィック制作の応用(演習・小テスト)				
	11		・DTP画像の修正ノウハウ(講義・演習)				
	12		↓				
	13		↓				
	14		↓				
	15		↓				
成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他 ()
	割合	前期		30%	60%		10%
		後期		30%	60%		10%
備考 ※2							

※1 授業内試験: 期間内の総まとめの試験/小テスト: 単元ごとのテスト等/課題内容: 課題提出および課題の出来具合
その他: ()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たった留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。